

皆様のご入会をお待ちしております。

2022年3月1日

パルス電流殺虫技術研究会の設立に向けて

2022年4月1日設立予定

設立目的

本会は、パルス電流殺虫技術の有効利用に関する調査、研究、開発並びに提言を行い、おいしくかつ安心・安全な生鮮食品（魚介類、畜肉類、青果類）の提供及び食品由来寄生虫症の制圧を目的とする。

活動趣旨

開発課題【ニーズ】を企画立案し、熊本大学のサポート【シーズ】により、その解決を図る。

会員種別

- （１）一般会員：民間機関等の法人又は個人
- （２）学会会員：学術研究機関等の法人又は個人、並びに学識経験者及び報道関係者など

運営費

本研究会は、一般会員の賛助・協力金により運営され、賛助・協力金の目安は以下のとおりである。

- （１）一般会員：法人会員－5万円／口、個人会員－1万円／口
@入会時：1口以上、@毎年度：1口以上
- （２）学会会員：無償

知的財産権の取扱

会員又は会員であった者は、本会において知得したパルス電流殺虫技術の有効利用に関する知識に基づき、発明、考案、意匠、ソフトウェア、ノウハウ等（以下「知的財産権」という。）の成果をなしたとき又は知的財産権の出願等を行おうとするときは、当該知的財産権の創出に貢献した当事者において協議の上、権利の帰属、取扱い等について定めなければならない。

会議の開催

会議は、総会及び定例会とする。

- （１）総会は年１回とし、本会の会長が招集する。
総会は会員の3分の2以上の出席によって成立するものとする。
- （２）定例会は年2回とする。
- （３）開発課題ごとに分科会を持つことが出来る。

分科会

第一分科会：アニサキス（魚介類）

アニサキス殺虫装置の仕様や価格、運用方法、並びに、アニサキス殺虫済商材の普及

に関する意見交換を行い、アニサキス殺虫装置並びにアニサキス症リスクフリー魚介類の早期社会実装を目指します。

第二分科会：住肉孢子虫（畜肉）

パルス大電流方式寄生虫駆除技術の馬肉やジビエ肉などの畜肉への有効利用に関する意見交換を行い、食肉由来寄生虫症リスクフリー商材の早期社会実装を目指します。

＊第三分科会以降の開発課題を、随時、募集しておりますので、積極的にご提案願います。

入会メリット

- (1) アニサキス殺虫装置プロトタイプ機（2021年6月22日熊本大学よりプレスリリース済）の開発へ使用した試験機を利用した研究開発。
- (2) 殺虫装置及び殺虫済商材の普及・ビジネスモデルの構築・提言。
- (3) アニサキス症など食品由来寄生虫症に関する最新情報収集。
- (4) 大型のナショナルプロジェクトや各種助成への共同申請による研究開発費の調達。
- (5) 年2回のパルス電流殺虫技術研究会への参加。

入会手続き

同封しております入会申込書へ必要事項をご記入いただき、そのPDFファイルを

「pulse-anisakis@kumamoto-u.ac.jp」宛へ送付願います。

（問い合わせ先）

浪平隆男

〒860-8555

熊本市中央区黒髪2-39-1

熊本大学 産業ナノマテリアル研究所

TEL：096-342-3645

FAX：096-342-3611

E-mail：namihira@cs.kumamoto-u.ac.jp

発足記念（第一回）総会の開催について

以下の要領にて、パルス大電流方式寄生虫駆除技術研究会 第一回総会を開催いたしますので、積極的なご参加をお願いいたします。（コロナ禍の状況によっては、オンライン開催も考えられます。）

日 時：2022年4月28日 14時から

場 所：熊本大学黒髪南地区総合研究棟2階204多目的会議室

次 第：会長挨拶

パルス電流殺虫技術研究会に関する説明

アニサキス殺虫装置プロトタイプ機（Pulsed Power Based Anisakis Killer）の紹介
プロトタイプ機開発時試験機の見学

パルス大電流方式寄生虫駆除技術に関する意見交換

懇親会：会議終了後、熊本市街へ移動して実施いたしますので、ご参加の程、どうぞよろしくお願いいたします。（コロナ禍の状況によっては、中止も考えられます。）